

第 2 回 西東京市内 老人保健施設 リハビリテーション従事者 情報交換会

実施日時 平成 28 年 6 月 1 日 16:00～17:30

実施場所 社会福祉法人東京聖新会 1 階 会議室

参加者（敬称略） エバグリーン田無 富樫 加代子 加藤 佳里（SW）
葵の園ひばりが丘 児島 崇 北島 毅明 井上賢（SW）
武蔵野徳州苑 内藤 美和子 榎本 正行（SW） 新井 勇平（SW）
山口 友夏里（SW）
ハートフル田無 村田 信幸 高橋 博之 久代 達哉（SW）
内村 将（SW） 鈴木 祐司

合計 14 名

開会の挨拶

ほんの小さな地域や組織においても、セクショナリズムが存在したりします。そうした自分の縄張りを守ろうとする意識は、組織のシナジー効果を低下させてしまい、とても残念です。数十万人の市民を「みんなで力を合わせてケアする」、みんなで見ていくという意識が必要となります。

そのためにも同じサービスを提供する施設や病院内においても、職種間でのセクショナリズムはあってはなりません。職種を離れ、利用者さまや患者さまの利益を最優先に連携を進めてほしいと思います。

そのベースとなるのは「プロフェッショナルの力」です。それがなければいけません。

是非、皆さんには、地域のセクショナリズムに陥ることなく、連携を深め、この会を盛り上げ有意義なものにしてください。

（社会福祉法人東京聖新会 介護老人保健施設 施設長 増山 茂 医師）

第 2 回活動報告

西東京市内には 4 ヶ所介護老人保健施設があり、それぞれの施設でリハビリテーションが実施されています。そこではリハビリの実施記録などが記入されていますが、使用されている用紙は事業所ごとに異なっています。そのため、例えば A 施設から B 施設に移動した際、または A 施設からご自宅に戻り、B 施設でリハビリを受けることになった時などに「情報の引継ぎがうまくいかない」という事がわかりました。

西東京市内に住まう方に「安心してリハビリをして欲しい」。そのためには、市内にある施設が繋がる必要があるという思いから、西東京市内にある 4 つの老人保健施設（エバグリーン田無 ・ 武蔵野徳州会 ・ 葵の園・ひばりが丘 ・ ハートフル田無）で、まず、使用している記録用紙を統一化してみよう、という提案が出ました。

今回は、記録用紙などの統一化に向けて具体的な協議がなされ、活発な意見が交わされました。

また今後は、「通所リハビリ」と「リハビリデイサービス」の違いや、利用目的を明確化させていくための活動に取り組んでいく予定です。具体的には下記項目を予定しています。

- ・ 訪問看護ステーションのリハビリと訪問リハビリテーションの違いと利用目的について
- ・ 訪問マッサージ事業所と訪問リハの違いと利用目的について

次回の開催予定日は 平成 28 年 7 月 6 日 17:00 となっています。

今後も、西東京市内の老人保健施設に所属するリハビリを行うスタッフ同士、情報交換と地域のリハビリを活性化するために協働して活動に取り組んでいきたいと考えております。